



*

11/11~14

友好町大空町との人材育成交流事業

～第14回ふれ愛スタディin氷川～

友好町提携を結ぶ北海道大空町の中学2年生（女満別中学校、東藻琴中学校）12人が来町し、氷川町の中学2年生15人と交流しました。

1日目の交流会では、久しぶりの再会を喜び、大空町团员による北海道の観光地や方言クイズ、レクリエーションを行い、大いに盛り上がりしました。



▲晩白柚の大きさにびっくり



▲北海道の方言わかるかな？



大空町シンボルキャラクター
「そらっきー」

2日目は氷川町团员の家庭でホームステイを行い、それぞれの家庭で交流を深め合い、忘れられない思い出を作ることができました。

お別れ式では氷川町团员を代表して竜北中2年の田嶋心さんが「短い期間でしたが、ここでの経験を良い思い出にしてもらえたら嬉しいです。熊本と北海道と離れていますが、これからも連絡を取り合いながら交流を深めていけたらと思います。」と挨拶しました。

今回の交流では、立神峡見学や火打石体験、晩白柚の皮むき体験、いちご狩りなどを行い、北海道と熊本の風土や文化の違いを学ぶことができました。今後も交流事業を通して、両町の交流がさらに深まることでしょう。



▲あま〜い！！



*

11/26

特産トマトをPR

～第8回やつしろTOMATOフェスタ～

道の駅「竜北」で第8回やつしろTOMATOフェスタ（氷川会場）を開催しました。

特設ステージでは、イメージキャラクター「とまピン」と氷川町キャラクター「ひかりん」のパフォーマンスや、園児によるダンス・太鼓演奏などで大いに盛り上がり、トマトの早食い大会やミニトマトすくい、今回新しく設けたトマトクイズなどを行いました。

飲食ブースでは、当日限定のトマトを使った料理や加工品を販売。中でも先着150人に振る舞われたトマト鍋は、配布待ちの長蛇の列となり大好評で、トマト1色の日となりました。





1/18

起業体験を通じて児童の主体性を養う

～竜西マルシェ～

竜北西部小学校で子どもたちが起業体験を通じてコミュニケーション力や実行力などを高めるため、竜西マルシェが開催されました。

オープニングでは、生徒を代表して6年生の下川愛加さんが「今日は氷川町内の仕事のことや農産物などいろんな魅力を発信したい。来場者の皆さんも氷川町の良さを改めて感じてほしい。」と挨拶しました。

各学年がそれぞれのテーマで、工夫を凝らした氷川町の魅力あふれる商品の販売や活動発表が行われました。各学年の取組みは次のとおりです。



1年生 (自然がいっぱいおもちゃランド)

秋探しで見つけてきた自然のものを使ったどんぐりごまや魚釣りなどのおもちゃを作りました。



2年生 (身近なものでおもちゃランド)

身近なものを材料にしてジェットカーや段ボール砲などのおもちゃを作りました。



3年生 (のうぎょうきらいわくわく店)

体験活動でお世話になった農家さんが作った野菜(トマト・キャベツなど)トルコキキョウやお米、オリジナル缶バッジなどを販売しました。



4年生 (私たちがデザイン☆氷川町未来創造会社)

氷川町内のさまざまな仕事について学習して発表しました。また、子どもたちが希望する未来の氷川町をデザインしました。



5年生 (宝石スマイルカンパニー)

氷川町の食材を使った商品(焼きドーナツ・もち米レンコン入り肉まん・もち米タピオカドリンクなど)を開発して販売しました。



6年生 (マルシェの運営)

当日の司会や受付、各店の紹介、コンシェルジュ(案内役)など、マルシェの運営を支えました。

